

第2回全国人間作業モデル事例検討会のお知らせ

これまで各地区の人間作業モデルに関心を持つ方々が集まり、事例検討会を実施してきましたが、3月から全国の方を対象として人間作業モデルの事例検討会を開催することになりました。今回で2回目です。

開催はリモートで実施しますので、どこからでも参加できますので、どうぞ参加下さい。

当日の発表事例は以下に示します。

また、発表事例は3事例ですので、まだ発表する方を募集しています。奮ってお申し込みください。申し込まれる方は200字から400字程度の要約を添付でお送りください。審査の結果、次回に回っていただくこともあります。

日時 7月16日(日) 13時~17時
参加費 一般4,400円、賛助会員・学生3,300円
発表時間 20分 質疑 30分
ミニレクチャーがあります

参加する方はホームページの事例検討会からお申し込みください。参加者には当日までに発表のパワーポイントをお送りしますので、ご覧ください、質問をしてください。

なお、OT協会のポイントが付きます。

発表1

重篤な廃用状態により寝たきりとなった事例への作業療法介入 ~就労復帰を目指した関わり~

岐阜県・医療法人社団友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ 塩崎 章嘉

<要旨>

本報告は、水頭症と髄膜炎を発症した35歳の男性についてである。これらの疾患の発症により重篤な廃用状態に陥り寝たきりとなった。そのクライアントに人間作業モデルを用いた実践を行った。クライアントの作業参加を促進する手段として「作業に関する自己評価」や「意志質問紙」を活用した。その結果、興味のある作業が明らかになった。興味ある作業を提供したために離床時間が延長し、習慣の変化や遂行能力が高まった。入院当初は「こんな身体では仕事はできない」と就労復帰を諦めていたクライアントであったが、「退院後には仕事ができるようになりたい」と肯定的な未来展望ができるように変化した。クライアントの希望である就労復帰に向けた作業療法介入を実施し、今後の社会参加に期待を抱いた状態で退院することができた。

発表2

地域リハビリテーションにおける保険外の支援と作業療法士の在り方を考える

東京都・株式会社LILYS OT キャンプ® 作業療法士 平川雄介

<要旨>

本事例は脊髄腫瘍の手術後、徐々に歩行困難が進み、転倒をきっかけに車いす生活になり、引きこもりとなった70歳代の女性である。今回、保険外で支援を行う機会を得たので、人間作業モデルを活用した4年間のプロセスをもとに、その成果を報告する。開始直後は人間作業モデルスクリーニングツール(以下、MOHOST)は33/96点で、作業への動機づけ、作業パターン、運動技能は4点と特に低下がみられた。生きがい意識尺度(以下、Ikgai-9)は12/45点だった。自身について「歩けないと何もできない」、「車いす姿を近所の人に見られたくない」と答えた。現在 MOHOSTは86/95点、Ikgai-9は34/45点になり、「身体に固執しないで、楽しんで生きていきたい」と楽観的・肯定的な感情へと変化した。これらの変化要因は、保険内支援の範疇を超えた作業療法士の支援も関与していたと考える。また意味ある作業という視点に加えて、クライアントの心の深層へと視野を深めていく視点が大事であったと考えることができよう。

Key words : 保険外、人間作業モデル、生きがい

発表3

人間作業モデルに基づくかわりにて拒否していた自宅への訪問が可能になった事例

岡山県・医療法人こまくさ会河口医院 川上孝行

<要旨>

A氏は双極性障害とアルツハイマー型認知症、頸部脊椎間狭窄症を示す70歳代の男性である。単身で生活する自宅がごみ屋敷状態で、民生委員が外来通院をしている当院に相談があり、主治医の勧めで精神科デイケア開始した。初回のOSAにおいて「家に人を入れるのは絶対に嫌」と訪問には否定的で、自宅の環境についても問題を感じていないと回答した。まずは興味ある作業や役割といった強みへの働きかけと並行して、生活歴の聴取を実施すると、「デイケアは第2の青春のようだ」「あなたに会えてよかった」と感想を述べる。デイケア開始から5か月後、自宅訪問の提案を筆者からすると「あなたならいいかな」と承諾してくれた。2回目のOSAでは生活しているところを片づけるにやや問題を感じているが、大事と回答し、A氏と周囲の人が抱く課題が一致した。

ミニレクチャー

リーズニング表の活用について

一般社団法人日本人間作業モデル代表理事 山田 孝

事例検討をする際に、リーズニング表を活用することで、クライアントの問題点と利点が理解できる。今回はリーズニング表の活用について話題提供したい。

対面式講習会の案内

対面式講習会を開催します。お知り合いの方に紹介して下さい。

東京会場

日時：2023年8月19日(土)-20日(日)

場所：東京都立大学荒川キャンパス (荒川区東尾久7-2-10)

講師：山田 孝(東京都立大学名誉教授、一般社団法人日本人間作業モデル研究所代表理事)

小林法一(東京都立大学大学院人間健康科学研究科教授)

谷村厚子(東京都立大学大学院人間健康科学研究科教授)

札幌会場

日時：2023年9月2日(土)-3日(日)

場所：札幌医療リハビリ専門学校(札幌市北区北6条西1丁目3-1)

講師：山田 孝(東京都立大学名誉教授、一般社団法人日本人間作業モデル研究所代表理事)

本家寿洋(北海道医療大学大学院教授)

9月から11月にかけて、**岐阜会場**・**福岡会場**・**大阪会場**・**静岡会場**でも実施します。詳細はホームページをご覧ください。また、2月には**神奈川会場**でも実施します。



一般社団法人 日本人間作業モデル研究所

後援 一般社団法人 日本作業行動学会